第2740地区　創立／1990年9月29日　認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：香月　章彦 / 副会長：田添　直記 / 幹事：吉野　英樹

持続可能なインパクトを生み出そう



2026～2027年度クラブスローガン

受け継ぎつなぐ奉仕の輪
～みらいをみんなでみつけよう～

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 澤田　磨　副委員長 / 橋口　輝宗
委員 / 鶴田　明敏、西村　浩輝、古川　直記、平岩　義明、岡　光正

本日の出席率７９．０６％：会員数５２名・出席２６名・欠席９名・出席規定免除会員８名・ビジター２名
前々回の修正出席率８２．６９％：出席２６名・メークアップ０名・

会長挨拶 / 香月 章彦君



皆様、こんにちは。本日もお忙しい中、例会にご出席いただき、ありがとうございます。本日10月22日は、私たち佐世保中央ロータリークラブが、国際ロータリーから正式に承認を受けた日です。1990年のこの日から、ちょうど36年になります。先日は創立36周年を皆様とお祝いしましたが、今日は、世界のロータリーの仲間入りをした日として、そのつながりに改めて思いを向けたいと思います。

そして、明後日10月24日は「世界ポリオデー」です。ロータリーは、世界の仲間やさまざまな団体と力を合わせ、ポリオの根絶に取り組んでいます。目指しているのは、子どもたちがポリオに苦しむことのない世界です。その実現には、国境を越えた協力と、支援を続けていくことが欠かせません。活動の意義を知り、周囲に伝え、できる支援を続ける。世界ポリオデーを、私たちもこの取り組みの一員であることを、改めて心に留める機会にしたいと思います。

さて、私たちのまち佐世保に目を向けますと、先週の10月16日から18日まで、第28回YOSAKOIさせぼ祭りが開催されました。踊り手の皆さんをはじめ、準備や運営を担う方々、会場で声援を送る方々など、多くの人の参加によって祭りは成り立っています。それぞれの立場で一つの催しに関わることで、人と人とのつながりが生まれ、それがまちの活力にもなっていくのだと思います。こうした、地域の人たちが力を合わせる機会を、これからも大切にしていきたいものです。世界の子どもたちを支える活動も、佐世保を元気にするお祭りも、人が集まり、それぞれの力を持ち寄るところに共通するものがあります。私たちのクラブにも、さまざまな職業や経験を持つ仲間がいます。その一人ひとりの力を生かしながら、身近なところでできる奉仕を、一つずつ形にしていきたいと思います。36年前から受け継がれてきた友情と奉仕の歩みを、これからも皆様と、楽しく、着実に進めてまいりましょう。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

Report 幹事報告 / 吉野 英樹君

１．例会変更・休会
＊ハウステンボス佐世保ＲＣ
１１月１５日（日）１０：００～
エコヴィレッジさいかい元気村
※佐世保東RC合同・芋掘りみかん狩りBBQ例会

２．来信
◆ガバナー事務所
・ＲＬＩ研究会研修会受講のご案内
・2027-28年度　地区主要行事開催要項

ニコニコボックス

会長 香月章彦君、副会長 田添直記君、幹事 吉野英樹君

皆様、こんにちは。
先日、長崎市で日本脳炎の患者が確認されたというニュースがありましたが、昨日は佐世保市でも70代の女性の感染が20年ぶりに確認されました。今年、全国で5例報告されているうち、2例が長崎県内ということです。日本脳炎は、ウイルスを持った蚊に刺されることで感染する病気です。ブタなどで増えたウイルスを蚊が運ぶ仕組みで、人から人へ直接うつる病気ではありません。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

〒857-0875 佐世保市下京町10-6 太陽アネックスマンション306 号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo.rc@theia.ocn.ne.jp

馬場　貴博君

先日は、宮崎延岡まで日帰り出張に行ってきました。往復約600㎞、なかなかこたえましたが、昼食を社員と一緒に元祖チキン南蛮のおぐらへ。なかなか美味でしたがすごい量で社員に半分あげました。

本田　実君

金曜日（16日）飲んでいたためか、夜、家の近くで携帯を落とした事に気付かず帰宅。親切な人が拾って警察へ。ただ、車に踏まれていて画面が割れてて使用不可能。データーも抜き取れず600件の電話番号が無くなりました。みなさん、バックアップデータを取っておきましょう。

川﨑　圭君

先日の博王会にて楽しくなりすぎてしまい、先輩方を差し置いて今年６回目の記憶を失いました。感謝と反省でニコニコします。今回はメガネと靴は無事でした。

本日の合計	6,000円
本年度の累計	473,000円

本日の卓話

◆第6回クラブ協議会　親睦例会活動委員会◆

指山　康二君

第６回クラブ協議会・親睦例会 本日は、ロータリーにおける「親睦」の大切さや、親和銀行本店の国登録有形文化財への登録、また海外での建築視察や旅行での経験についてお話しさせていただきます。

まず、ロータリーの基本理念である「親睦と奉仕」についてです。ロータリーにおける親睦には、大きく分けて二つの意味があります。

一つは、ゴルフや旅行、食事会などを通じて楽しく交流を深める「感性的な親睦」です。もう一つは、会員同士が互いに学び合い、自分に足りない部分を補いながら成長していく「精神的な親睦」です。ロータリークラブは社交クラブであり、会員同士が親睦を深め、信頼関係を築くことが、奉仕活動の基盤になると考えています。単に集まって楽しむだけではなく、互いに刺激を受け、学び合える関係を築くことが、ロータリーにおける親睦の大きな意義ではないかと思います。

続いて、親和銀行本店の国登録有形文化財への登録についてです。建物の回廊館については、当初、解体も検討されていましたが、歴史的価値のある建物を後世に残したいという思いから、保存に向けた取り組みを進めてきました。登録にあたっては、建物の図面や専門家の所見など、さまざまな資料を準備し、申請も一期・二期、そして三期と段階的に進めました。昨年から取り組みを進め、今年７月31日には表彰を受けることができました。地域の歴史ある建物を次世代へ残すことにつながり、大変意義深いことだと感じています。

また、バルセロナにガウディ建築の視察にも行きました　。サグラダ・ファミリアやグエル邸などを実際に訪れ、歴史的・芸術的価値の高い建築物に触れることができました。

現地では、スケジュール調整や移動など苦労する場面もありましたが、メンバーとともに貴重な経験ができたことは、大変良い思い出となっています。

さらに、パリやロンドンを含むヨーロッパ旅行では、帰国時にメンバー一名の所在が確認できなくなるというハプニングもありました。一時は心配しましたが、添乗員への確認によって無事に搭乗することができ、今となっては思い出深い出来事の一つです。今後の旅行については、それぞれの予定に合わせた現地集合・現地解散という方法も検討していきたいと考えています。

今回、親睦の意義や地域の歴史的建造物を守る取り組み、そして海外での経験についてお話しさせていただきました。ロータリーの親睦とは、単に楽しい時間を共有するだけでなく、会員同士が互いに学び、刺激を受け、自己研鑽につなげていくことが大切だと思います。これからも、こうした交流の機会を大切にしながら、会員同士のつながりをさらに深めていきたいと思います。



ＳＡＡ：川崎 圭

次回１１月５日１２：３０～